



施策マネジメントの実施状況について



平成25年2月
広島県

目次

1 施策マネジメントの実施について	2 ページ
(1) ワークの点検, 見直しの状況	3
～ ワーク別進捗状況の点検	4
～ ワーク体系の見直し【主なもの】	5
～ 成果目標の見直し【主なもの】	7
(2) 事業見直しの状況	9
～ 事業見直しの状況【主なもの】	10
(3) 事業レビュー結果の反映状況	14

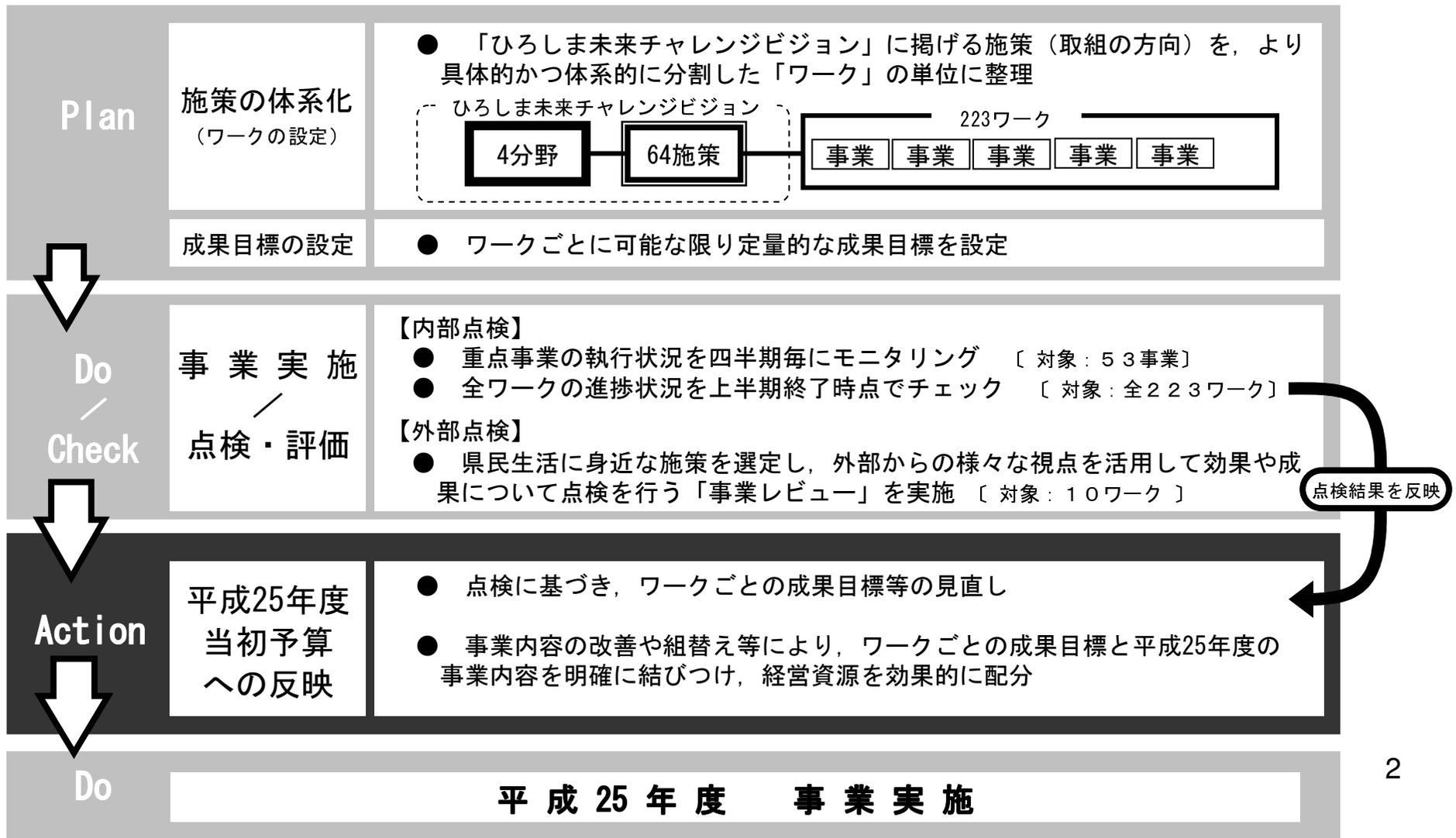
[別冊]

2 施策マネジメントにおける見直し一覧

1 施策マネジメントの実施について

○ 施策マネジメントの基本的な考え方

「ひろしま未来チャレンジビジョン」に掲げる施策を着実に推進するため、より成果に重点をおいた、いわゆる「PDCAサイクル」をシステム化し、施策マネジメントを実施。



(1) ワークの点検, 見直しの状況

※ワークとは…

各施策の推進に必要な複数の事業を束ねたもので、ワーク毎に成果目標を設定している

ワーク別進捗状況の点検



年度途中で進捗状況を点検

「ひろしま未来チャレンジビジョン」に掲げる施策を着実に推進するため、施策マネジメントの一環として、「ひろしま未来チャレンジビジョン」に掲げる施策(取組の方向)をより具体的かつ体系的に分割した「ワーク」の単位で、平成24年度上半期時点での成果目標の達成に向けた進捗状況を点検することにより、目標達成に向けた下半期の対応方針を確認するとともに、明らかとなった課題や環境変化を踏まえた平成25年度の新たな取組の検討に活用。

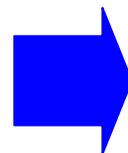
ワーク体系の見直し



効果的な施策展開に向けたワーク体系の見直し

「県政運営の基本方針2013」や、年度途中で進捗状況の点検結果を踏まえ、これまでのワークから新しい取組などを区分してマネジメントすべきものについては分割、また、一体的にマネジメントすべきものについては統合するなど、効果的に施策展開していく観点からワーク体系を見直し。

成果目標の見直し



取組成果の検証に適した指標への見直し

「県政運営の基本方針2013」や、年度途中で進捗状況の点検結果を踏まえ、重点化する取組について、新たな成果目標を設定するとともに、これまでの定性的な目標については、取組成果を検証できるように可能な限り定量的な成果目標を設定。

～ ワーク別進捗状況の点検

○ 平成24年度上半期終了時点で各ワーク目標の進捗状況を点検

点検区分	内 容
順調	24年度目標及び全体目標が達成見込みのもの。
概ね順調	23年度目標の未達など遅れの要因があるが、改善策の実施等により24年度目標及び全体目標が達成見込みのもの。
やや遅れている	現状の取組を改善・強化すれば、全体目標の達成が見込めるもの。
遅れている	目標達成が見込めないもの。

分 野 名	ワーク数	順調	概ね順調	やや遅れている	遅れている	実績未確定 その他
人づくり	51	21	5	17	4	4
(うちH24重点ワーク)	(17)	(5)	(1)	(7)	(3)	(1)
新たな経済成長	61	16	12	20	6	7
(うちH24重点ワーク)	(25)	(6)	(4)	(11)	(2)	(2)
安心な暮らしづくり	90	40	23	10	5	12
(うちH24重点ワーク)	(21)	(12)	(4)	(2)	(1)	(2)
豊かな地域づくり	21	9	6	2	0	4
(うちH24重点ワーク)	(6)	(2)	(1)	(2)	(0)	(1)
計	223	86	46	49	15	27
(うちH24重点ワーク)	(69)	(25)	(10)	(22)	(6)	(6)

※同一ワーク内に複数の目標がある場合は、進捗度が最も低い指標で点検区分を整理。ワーク別の点検結果は後記「2 施策マネジメントにおける見直し一覧」に掲載。

67.3%
(55.6%)

32.7%
(44.4%)

年度途中で進捗状況を点検

～ ワーク体系の見直し【主なもの】

見直し前ワーク名	見直し後ワーク名 (H25ワーク番号)	ワークを見直しする理由
県立広島大学における地域に 貢献できる教育研究の支援	県立広島大学における地域に貢 献できる教育研究の支援(06①) 大学連携による人材育成のため の教育プログラム開発・実施等の 支援(06②)	【分割】 ワーク「高等教育機関の魅力向上」(14①)構成事業のうち、「大学 連携による人材育成推進事業」については、人材育成の観点からマネジメ ントや成果検証ができるよう、新たなワークに分割。
中国との経済交流の拡大 インドとの経済交流の拡大 県内企業の海外展開支援、外 国企業の県内投資促進	海外ビジネス展開への支援(22 ①)	【統合】 県内企業の海外ビジネス展開支援を拡充し、総合的かつ一体的 に推進するため、ワークを統合。
港湾施設の機能強化 外航コンテナ航路の拡充	外航コンテナ航路の拡充(29②)	【統合】 県内港の取扱貨物量の増加と国際コンテナ定期航路の拡充を総 合的かつ一体的に推進するため、ワークを統合。
効率的な保健医療福祉提供体 制の推進 頻回受診者等への保健指導 レセプト点検の充実	効率的な保健医療福祉提供体 制の推進 (35①)	【再編】 頻回・重複受診者に対する保健指導については、全市町で実施さ れ目標を達成したこと、レセプト点検については、レセプトの電子化等により 一定の効果が維持されていることから、今後は、病気の早期発見・早期治 療・重症化予防を目標としたワークに再編。
県立病院事業	—	【個別管理】 病院経営戦略会議により、組織全体での情報共有や迅速な 改善対策に取り組むとともに、外部の有識者で構成する委員会からも様々 な意見・提言を受けるなど、独自に、PDCAサイクルを構築し、点検・評価・ 公表を実施していることから、当該ワークは個別管理。
たばこ対策 がん検診の受診促進 がん医療連携体制の整備 ほか8ワーク	がん予防対策の推進 がん検診の推進 がん医療提供体制の充実 ほか3ワーク(36①～⑥)	【再編】 がん対策に係る従来の11ワークを、第2次「がん対策推進計画」 (H25-29)で取り組む予定の6つの分野にあわせて、6ワークに再編。

見直し前ワーク名	見直し後ワーク名 (H25ワーク番号)	ワークを見直しする理由
包括的・継続的ケアマネジメントの推進 在宅医療等の推進 ほか3ワーク	地域包括ケア体制の構築 介護サービス基盤の整備 認知症対策の推進 ほか2ワーク(39①~⑤)	【再編】 医療、介護、福祉等の連携による広島県版地域包括ケアシステムを構築するための事業メニューにあわせ、ワークを再編。
福祉・介護人材の確保 福祉・介護人材の育成 福祉・介護従事者の定着促進	福祉・介護人材の確保・育成、定着促進 (41①)	【統合】 介護・福祉業界における人材確保・育成から定着までの取組を一体的にマネジメントするため、ワークを統合。
防犯行動が自然にとれる「意識づくり」 互いに支え合う「地域づくり」 犯罪の起こらない「環境づくり」	安全・安心なまちづくり (51①)	【統合】 これまでの「意識」「地域」「環境」づくりの取組を一体的にマネジメントするため、ワークを統合。
コンパクトなまちづくりの推進	中心市街地の活性化の推進(57①)	【分割】 将来的なコンパクトで利便性の高い生活圏の構築に向けた取組の第一歩として、都市中心部への機能集約等による中心市街地の活性化を促進するため、ワークを再編。
	人材が集まる魅力の創造(57②)	【分割】 広島都市圏の活性化に向け、内外の多様な人材等を惹きつける魅力と活力ある地域環境を創出するため、広島西飛行場跡地利活用の具体化や広島都市圏活性化のための調査・検討結果を踏まえた取組に対するマネジメントや成果検証ができるようワークを分割。
	広域的な交通ネットワークの最適化(57③)	【分割】 県内全域を対象とした公共交通機関の乗換改善等により、都市地域内のみならず、都市と自然の近接性を活かした県内の移動活発化の取組を推進し、その取組のマネジメントや成果検証ができるようワークを分割。

H25取組ワーク

4分野 64施策 **207ワーク**

対前年度比: ▲16ワーク

※ただし、完全に廃止したワークはなく、統合・分割増減によるもの

～ 成果目標の見直し【主なもの】

○ 成果目標の新設・定量化

関連ワーク (H25ワーク番号)	成果指標・目標	達成 年次	単位	全体目標	成果目標を新設する理由
食育の推進(02②)	栄養バランスのとれた食事に関心を持っている保護者・児童生徒の割合	H29	%	100	現行の対策により、家庭での朝食欠食率は相当程度低くなっており、今後は食の質的向上の取組を進めるため、関心度に関する目標を新設。
保育サービスの充実(09②)	保育所等入所児童数	H26	人	64,483	女性の就業率の増加に伴い、今後も保育需要が高まることが予想されるため、女性の労働力変動も視野に入れ、目標を新設。
多様な創業・事業化・経営革新への取組支援(19③)	支援対象の創業・第二創業件数	H27	件	900 (累計H25-H27)	新規創業や第二創業など、多様な創業や新事業展開に向けた取組を実施するため、その成果を検証するための目標を新設。
ものづくり産業の高度化・低炭素化(21②)	研究成果による効果額 (製品販売額・コスト削減額)	H28	億円	66	戦略研究プロジェクト推進事業と指標の関連性をより明確化するため、目標を新設。
林業事業体の育成強化(23④)	木材生産量5千m3/年以上の林業事業体数	H27	社	14	林業事業体の早期育成強化に向けて、事業効果を検証するために、経営状況が反映されやすい木材生産量に着目した定量的な目標を新設。
企業の経営人材等の育成(26①)	転職フェア参加者の広島県転入者数	H27	世帯	12 (累計H25-H27)	新たに首都圏からの社会人のU・ターンを促進する取組を実施するため、その成果を検証するための目標を新設。
高度な技能人材の育成(27②)	県立技術短期大学の定員充足率	H27	%	100	技能人材の育成の観点から、県立技術短期大学の定員充足率向上に向けた取組を更に強化し、その取組の成果を検証するため、目標を新設。
小児救急医療体制の確保(32⑤)	24時間小児救急医療体制が整備された二次保健医療圏域	H26	圏域	全7圏域	二次保健医療圏域における小児救急医療体制の空白日の早期解消に取り組むため、目標を新設。

関連ワーク (H25ワーク番号)	成果指標・目標	達成 年次	単位	全体目標	成果目標を新設する理由
がん検診の推進(36②)	市町が実施するがん検診の受診者数	H28	人	[設定例] 大腸がん: H22の2倍	3年毎に実施される国民の生活基礎調査に基づく指標に加え、毎年度把握可能な目標を新設。
地域包括ケア体制の構築(39①)	地域包括ケア実施市町	H26	市町	全23市町 (少なくとも各市町で 1日常生活圏域以上)	医療、介護、福祉等の連携による地域包括ケアシステムの構築に新たに取り組むため、目標を新設。
少年非行防止総合対策の推進(51⑥)	スクールサポーター派遣校における暴力行為発生件数	H25	件	前年度比 80%減	暴力行為など問題行動が頻発する学校に対して集中対策を実施するため、その成果を検証するための目標を新設。
地域の生活課題解決の促進(62①)	取組紹介県ホームページへのアクセス件数	H26	件	1,940	過疎地域の生活支援モデル事業の実施住民自治組織における取組成果の波及を目指し、周知状況を検証するため、目標を新設。

○ 成果目標の修正

関連ワーク (H25ワーク番号)	成果指標・目標	達成 年次	単位	全体目標	成果目標を修正する理由
女性の継続就業と仕事と家庭の両立支援(09①)	男性の育児休業取得率	H24 →H32	%	5.0→13.0	目標達成年次が到来したため、達成年次を更新し、目標も上方修正。
みんなでこどもと子育てを応援(09⑤)	子育て応援イクちゃんサービス登録店舗数	H26	店舗	5,000→6,000	期限内に目標を達成したため、目標を上方修正。
がん予防対策の推進(36①)	喫煙率(男性)	H24 →H29	%	30.0→22.0	目標年次が到来し、目標も達成したため、年次を更新し、目標も上方修正。

取組成果の検証に適した指標への見直し

(2) 事業見直しの状況

- ワークを構成する事業の見直し状況は次のとおり。
- また、その他の事業についても、PDCAサイクルを活用した事業のマネジメントを行い、必要な事業の見直しを行った。

◇ ワークを構成する事業の見直し

○ <u>事業の新設</u>	60事業	4,045百万円		
○ <u>事業内容の見直し</u>				
・ 業務改善	318事業	32,204百万円	～24年度比	▲4,940百万円
・ 事業の統合・廃止(15事業)			～24年度比	▲370百万円
(※ 事業内容の見直しのうち、一般財源を減額した事業	118事業		～24年度比	▲1,122百万円 ①)
○ <u>継続実施</u>	185事業	64,086百万円	～24年度比	+7,293百万円
○ <u>終了(57事業)</u>			～24年度比	▲6,668百万円

◇ その他の事業の見直し

見直しを行った事業数 70事業 ～24年度比 ▲593百万円 ②

①+②=約▲17億円
※資料1の事業見直し効果額

～ 事業見直しの状況【主なもの】

○ 事業の新設

(単位:千円)

関連ワーク (H257-7番号)	局	主な事業	H25 事業費	新設事業の内容
豊かな心の育成(01③)	教育	生徒指導集中対策プロジェクト	7,838	・暴力行為など問題行動が頻発し、特に状況が深刻化している学校を対象に集中対策を実施し、暴力行為発生件数の大幅な減少やいじめなどの問題行動の解決を図る。
広島空港の利用促進・利便性向上による観光客の誘致(25⑥)	土木	広島空港アクセス性向上対策事業	37,081	・定時性に優れるJR山陽本線を活用した空港アクセス改善策として、空港拠点駅であるJR白市駅の利便性向上対策を実施することにより、広島空港利用者数の増加を図る。
小児救急医療体制の確保(32⑤)	健康	岡山大学医学部寄附講座運営事業	20,000	・福山・府中二次医療圏における小児救急医療体制の空白日解消を図るため、福山市と連携し、岡山大学医学部に寄附講座を創設する。

○ 業務改善

(単位:千円)

関連ワーク (H257-7番号)	局	主な事業	H24 事業費	H25 事業費	事業見直しの内容
豊かな心の育成(01③)	教育	新「山・海・島」体験活動“ひろしま全県展開プロジェクト”	25,092	29,553	・教育効果の高い3泊4日の長期宿泊体験活動を全校で実施し、自主性、自立心、コミュニケーション能力等の育成効果の拡大を図る。
	警察	スクールサポーター活用事業	18,230	50,284	・暴力行為など問題行動が頻発している特に課題の大きい学校を対象に集中対策を実施し、暴力行為発生件数の大幅な改善を図る。
企業ニーズに応じた専門人材の育成支援(07①)	商工	イノベーション人材等育成事業	102,000	105,640	・研修派遣人数の増加を図るため、補助対象企業の拡大など採択要件を見直すとともに、経営者を対象としたセミナーの開催により、高度産業人材の育成機運を醸成する。
女性の継続就業と仕事と家庭の両立支援(09①)	商工	女性の就職総合支援事業	54,012	33,062	・利用が低調であった子育てサポートステーションでの巡回相談を見直し、より効果の高い啓発セミナーの開催の充実などに組み替える。
	商工	子育てしやすい職場環境整備事業	145,089	57,500	・国の補助制度拡充により事業所内保育施設整備促進補助金を一部廃止するとともに、意識啓発キャンペーンの啓発手法を見直す。
	環境	働く女性の就業継続応援事業	24,903	25,904	・事業効果をより高めるため、企業等からのニーズの高い研修会や奨励金を拡充するなど、事業内容を組み替える。

(単位:千円)

関連ワーク (H257-ク番号)	局	主な事業	H24 事業費	H25 事業費	事業見直しの内容
保育サービスの充実(09②)	健康	待機児童緊急対策事業	1,415,153	2,991,220	・これまでの保育所整備に加え、賃貸物件による保育所分園整備に対する補助や保育所コンシェルジュの配置による保育ミスマッチの解消等の取組により、待機児童ゼロを目指す。
県内中小企業等を知る機会の提供等によるマッチング促進(15①)	商工	ひろしま企業オンキャンパス・リクルーティング事業	12,391	20,046	・合同企業説明会への参加が内定者数の増加に繋がるよう、学生と県内企業若手社員との交流会や大学3年生を対象とした合同企業説明会の開催等、マッチング機会の拡大を図る。
県内中小企業等の海外展開を担うグローバル人材の確保支援(15②)	商工	グローバル人材育成確保促進事業	27,588	29,088	・人材紹介会社に対するインセンティブ等の制度見直しにより、県内中小企業の人材確保件数の増加を図る。
優秀な留学生の積極的な獲得・受入と勉学・生活の支援(17①)	地域	留学生受入・定着倍増促進事業	46,654	43,892	・県内大学の留学生受入拡大に向けた取組を促進するため、研修会の開催等、大学と連携した取組を充実する。
多様な創業・事業化・経営革新への取組(19③)	商工	産業イノベーション創出促進事業	57,142	190,350	・新規創業や第二創業など、多様な創業や新事業展開を促進するため、支援体制を整備・強化するとともに、異分野の融合による新ビジネス創出の支援を図る。
海外ビジネス展開への支援(22①)	商工	海外ビジネス展開支援事業	98,685	114,151	・県内企業のニーズが高く、ビジネスチャンスが見込まれる地域において、販路拡大支援や市場調査等の取組を強化する。
外航コンテナ航路の拡充(22②)	土木	ポートセールス強化事業	6,728	20,274	・航路開設当初の船社の負担を軽減する措置を導入するとともに、県内港の取扱貨物量の増加に向けた荷主に対する助成制度を創設し、取組を強化する。
経営力の強化(23③)	農林	農業ビジネス経営力向上事業	21,414	18,095	・経営力の高い担い手育成のため、新たに経営展開コースを加え、取組を強化する。
	農林	集落法人経営発展チャレンジ事業	88,615	69,926	・経営力を強化する法人を明確化し、経営発展の段階に応じたハード整備の支援や専門家の助言・指導などを強化する。
情報発信・プロモーション活動の強化(25①)	商工	観光地「ひろしまブランド」構築推進事業	175,295	261,159	・「注目を集める」ことを重視したプロモーションから「広島の旅」をイメージさせるプロモーションにシフトするとともに、着地型旅行商品造成の取組を強化する。

(単位:千円)

関連ワーク (H257-7番号)	局	主な事業	H24 事業費	H25 事業費	事業見直しの内容
おもてなしの充実等による受入体制の整備促進(25③)	商工	おもてなし向上県民運動推進事業	25,757	12,600	・おもてなしの取組を全県へ波及させるため、対象者が限定的な研修事業を休止し、優良なおもてなしの取組の表彰事業を実施する。
医師の確保(32⑨)	健康	広島県医師育成奨学金貸付金	134,000	182,400	・医師確保を図るため、広大ふるさと卒の医学生に対する奨学金貸付定員枠を拡大する。(15人→18人～3人増)
がん対策の推進(36①～⑥)	健康	「がん対策日本一」推進事業	192,751	493,078	・検診受診率向上対策の手法を広報による広範な普及啓発から個別受診勧奨にシフトし、経費縮減を図る一方、緩和ケア体制整備や相談支援などの取組を強化するとともに、引き続き、高精度放射線治療センター(仮称)の整備を推進する。
地域包括ケア体制の構築(39①)	健康	地域包括ケア推進事業	92,970	289,337	・日常生活圏域において広島版地域包括ケア体制の構築に向け、在宅医療推進医の育成や市町の取組への支援などを拡充する。
要望にきめ細かに対応する治安体制の整備(51⑧)	警察	警察統合ネットワーク運営費	237,023	224,347	・回線ごとに個別契約していた通信回線契約の全庁的な見直しを実施し、契約を統合することによる回線使用料の減を図る。
地域の特色を活かした魅力ある観光地づくり(54①)	商工	教育旅行誘致促進事業	13,094	11,281	・教育旅行誘致に取り組む市町への研修支援の内容を各市町の取組状況に応じて見直すとともに、受入れの拡大を図るため、新たに誘致に取り組む市町に対する支援を積極的に行う。
	地域 土木	尾道松江線周辺地域活性化促進事業	5,700	8,000	・尾道松江線建設促進期成同盟会利用促進部会の活動を活発化させるため、島根県と連携し、支援を強化する。 ・尾道松江線周辺地域の活性化を図るため、やまなみサイクリングロード(仮称)の検討を開始する。
公共サービスにおけるICTの利活用の促進(56①)	総務	メイプルネット運営事業	300,992	213,715	・ネットワーク回線に係る保守運用委託事業の仕様を見直し、事業費の縮減を図る。

○ 事業の統合・廃止

(単位:千円)

関連ワーク (H257-7番号)	局	主な事業	H24 事業費	事業見直しの内容
みんなでこどもと子育てを応援(09 ⑤)	健康	子育てサポート人材育成・ 活用事業	7,784	・児童虐待防止特別対策事業に整理・統合し、地域住民の日常的な支援を広く促進し、 子育ての不安・負担解消の取組を強化する。
多様な創業・事業化・経営革新への 取組支援(19③)	商工	産業支援サービス業拠点 形成事業	12,808	・民間オフィスの活用などにより対応することとし、事業を廃止する。
畜産(24②)	農林	「広島牛」広域後代検定推 進事業	18,741	・家畜人工授精事業に整理・統合し、県有種雄牛凍結精液の生産・供給と販売ニーズ を取り入れ、広島県産和牛の増頭を図る。
情報発信・プロモーション活動の強化 (25①)	商工	観光地「ひろしま」首都圏広 報事業	4,999	・新たな観光プロモーションや広島ブランドショップを活用した情報発信と一体的に実施 することとし、事業を廃止する。

○ 継続実施

(単位:千円)

関連ワーク (H257-7番号)	局	主な事業	H24 事業費	H25 事業費	継続事業の内容
企業の集積支援(19⑥)	商工	企業立地促進対策事業	3,661,860	6,117,004	・県内投資を行う企業への助成、企業情報の収集・誘致活動
災害医療体制の確保(32④)	健康	医療施設の耐震化等整備 促進事業	408,823	1,717,735	・耐震化のための新築、増改築工事、耐震補強を行う医療機関等に対する 補助
医療連携体制の強化(32⑧)	健康	医療連携情報ネットワーク 事業	131,808	597,814	・県全域において電子カルテや画像情報の参照などを可能とする情報ネッ トワークの整備

(3) 事業レビュー結果の反映状況

① 実施概要

- (1) 日程 平成24年11月4日(日) 9時～16時
- (2) 施策 県民生活に身近な施策を中心に次の4施策を選定
- [1]《人づくり》～ 女性の社会参画の促進
 - [2]《新たな経済成長》～ 若者の就労支援・技能人材育成
 - [3]《新たな経済成長》～ 農業の担い手育成
 - [4]《安心な暮らしづくり》～ がん対策
- (3) 実施体制 2班体制で実施 [1班当たり7名:コーディネーター, 施策関係有識者, 市町職員, 県民公募委員]

② 結果の反映

施策マネジメントを進める上で、県民の視点を「計画」、「実施」の見直しに関する内部点検に反映

■「計画[PLAN]」の見直し

成果指標・目標の改善について《主なもの》

ワーク	主な意見	見直し状況
女性の社会参画の促進	男性の育児休業取得率の目標は、もっと高い目標にする必要がある	育児休業取得率の目標を5%以上から13%以上へ上方修正
若者の就労支援・技能人材育成	県立技術短期大学校の定員充足率に関する目標を掲げる必要がある	新たに「県立技術短期大学校の定員充足率」を目標として設定
がん対策	男性の喫煙率は既に目標を達成しており、今後の目標設定が必要である	男性の喫煙率の目標を30%以下から22%以下へ上方修正

■「実施[DO]」の見直しの視点

事業の改善の視点《主なもの》

ワーク	主な意見	見直し状況
女性の社会参画の促進	保育士人材バンクを保育士を志望する学生に向けた情報発信にも活用する必要がある	保育士人材バンクにおいて、新卒保育士を対象とした合同就職説明会を開催し、保育所への就職を支援する。
若者の就労支援・技能人材育成	県立技術短期大学校卒業者の企業評価が高いことをもっと周知する必要がある	高校訪問の強化等により、就職率が100%であることや、きめ細かな高度な指導を行っていることを積極的にPRする。
農業の担い手育成	U・ターンを希望する若者も含む新規就農対策にも力を入れる必要がある	初期投資の軽減等を支援するとともに、経営ノウハウに関する研修を実施する。
がん対策	会社員等の壮年層のがん検診に対する関心が特に低いため、企業からのアプローチの強化を働きかける必要	がん検診受診の推進などに積極的に取り組む企業の評価制度を新たに導入し、企業内での取組を促進する。